

真空脱ガス炉 SBF-250



真空脱ガス炉SBF-250は各種部品の真空加熱を目的とした装置です。最高加熱温度は250℃まで昇温可能です。炉体内部は5段式となっており、コンパクトな装置で大容量の脱ガスが可能です。排気系は、ロータリーポンプとメカニカルブースターポンプを採用しておりますので大容量の排気が可能です。操作は排気系の立ち上げ・昇温工程・排気系の立ち下げがスイッチ1つで行え、初心者の方にも簡単にオペレート出来ます。

真空脱ガス炉SBF-250仕様

- 到達圧力 $\times 10^{-1}$ Pa台※常温・無負荷・脱ガス完了時
- 最高温度 250℃
- 昇温時間 120℃迄3時間以内
- 均熱範囲 120℃ \pm 5℃以内・・・真空中
- 炉内寸法 700mmW \times 700mmD \times 600mmH SUS304
- 有効棚寸法 600mmW \times 600mmD \times 80mmH
- 棚数 5段
- 加熱機構 マイクロシースヒーター
- 加熱制御 サイリスタ制御
PID方式温調計 \times 6台
- 真空排気系 油回転ポンプ:1500/1800L/min[50Hz/60Hz]
メカニカルブースターポンプ:8330/10000L/min[50Hz/60Hz]
- 真空計 圧力計/ピラニ真空計
- 操作方法 手動/自動操作可能
- ユーティリティ電気:AC200V三相20KVA
冷却水:2.0L/min以上0.15MPa以上0.2MPa以下25℃以下循環
計装エア:0.5MPa以上
設置寸法:2000mmW \times 900mmD \times 1600mmH